

令和 8 年度

統合臨床医学コース(臨床医学入門)の手引き

新潟大学医学部医学科

医学部医学科の教育理念

医学を通して人類の幸福に貢献する

医学部医学科が求める学生像

- ・ 良き医療人・医学者になるための強い学習意欲と科学的探究心を有する人
- ・ 協調性に富み、豊かな教養と人間性、社会に貢献するために必要な倫理観を有する人
- ・ 広い視野を有し、積極的に行動できる人

医学部医学科の教育目標

1. 豊かな人間性と高い倫理性を備え、全人的医療に貢献できる人材の育成
2. 高度の専門性を持つ医療チームの一員として貢献できる人材の育成
3. 広い視野と高い向学心を有する医学研究者・教育者となり得る人材の育成
4. 保健、医療、福祉、厚生行政に貢献できる人材の育成
5. 地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成
6. 探求心、研究心、自ら学ぶ態度を生涯持ちつづける人材の育成

医学部医学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

医学科では、所定の年限在学し、医学科の教育理念「医学を通して人類の幸福に貢献する」に基づき定められた全科目に合格し、科学的姿勢、コミュニケーション能力、人間性、社会性などの医に求められるプロフェッショナリズムを十分に身につけた学生に学士（医学）の学位を授与する。

新潟大学医学部医学科のアウトカム

I コミュニケーション

卒業生は：
患者・家族及び医療従事者間で適切なコミュニケーションをとることができる。

1. 患者・家族、医師及び他医療職種間と良好な関係を形成し、正確な情報の収集・伝達ができる。
2. 患者・家族に傾聴、共感、支持的態度を示し、適切な診療ができる。
3. 英語を用いて患者と基本的なコミュニケーションをとることができる。

II 医学の専門的な知識

卒業生は：
以下の医学に関する知識を有し実践に
応用できる。

1. 各臓器の構造と機能
2. 心理・行動
3. 病態生理
4. 診断と治療
5. 疫学
6. 医薬品と薬理作用
7. 医療機器
8. 医療行政
(予防/保健/福祉/医療)
9. 医療経済

III 倫理観と人間性

卒業生は：
患者・利用者の価値観や背景を理解し、個性を尊重できる。プロフェッショナルにふさわしい倫理観をもち、礼節ある態度を示すことができる。

1. 法的責任・規則を遵守できる。
2. 患者中心の視点をもち、利他的、共感的に対応できる。
3. 多様な価値観や文化的背景を理解し患者・利用者の個性に配慮できる。
4. 患者・利用者に対して正直、誠実であり、礼儀正しく振る舞うことができる。
5. 研究・医療倫理、医療安全、守秘義務、説明責任を理解し実践できる。

IV 診療の実践

卒業生は：
基本的な診療を指導医の監督下で実践できる。

1. 基本的診療と手技ができる。
2. 診断と治療に必要な検査を選択し、データを解釈できる。
3. 適切な診断ができる。
4. 適切な治療計画が立てられる。
5. 診療記録を適切に記載し、プレゼンテーションできる。
6. チーム医療の重要性を理解し、安全な医療を実践できる。

V 保健・医療・福祉への貢献

卒業生は：
保健・医療・福祉に関する制度や業務を理解し、その改善に貢献できる。

1. 疾病の予防に貢献できる。
2. 患者への健康教育を実践できる。
3. 地域の保健指導を実践できる。
4. 検診、スクリーニングの重要性を理解し実践ができる。
5. 厚生・行政の概要を理解し役割を果たすことができる。
6. 社会福祉、保険制度を理解し実践できる。

VI 地域医療と国際性

卒業生は：
国際的な視野をもちつつ、地域の実情に合った医療を実践できる。

1. 地域の実情（伝統や風習）を踏まえた地域医療を実践できる。
2. 語学に堪能で国際的な視野をもって行動できる。
3. 国際保健に関心をよせ情報収集し、課題解決に取組める。
4. 海外の学生と積極的に交流できる。

VII リサーチマインド

卒業生は：
基礎・臨床研究に興味をもち、自ら問題を発見し、論理的思考で問題解決をはかることができる。

1. 基礎・臨床研究に興味をもち、研究に取り組むことができる。
2. 自ら未知・未解決な問題を発見し、論理的思考により研究を推進し、問題解決できる。
3. 研究についてプレゼンテーションができ、新しい知見を発信できる。

VIII 自己研鑽・生涯学習

卒業生は：
生涯にわたり自ら学ぶ態度をもち、自己研鑽を続けることができる。

1. 自己主導型学習により課題を設定し、その解決のために正しく情報を検索し、課題解決できる。
2. 自己評価と振り返りを通して生涯学習を継続できる。
3. 現場での実践を通して自己の向上を図ることができる。
4. 探究心、向学心、向上心をもち続けられる。

目 次

統合臨床医学コース 時間割表	1
講義ユニット ネフロサイエンス (1)(2)	5
講義ユニット ニューロサイエンス (1)	6
講義ユニット ニューロサイエンス (2)	7
講義ユニット 今までの学び、これからの学び	8
実習ユニット 看護実習	9
実習ユニット シミュレーション実習 (医療面接1・2)	13
実習ユニット シミュレーション実習 (注射)	14
実習ユニット シミュレーション実習 (腹部エコー)	15
グループ学習ユニット 外科的手技・処置の基礎知識	16
グループ学習ユニット 小児の特性	19
グループ学習ユニット 医療人類学	26
講義ユニット 薬害被害者の声を聞く	27
講義ユニット 薬物治療の基礎知識	28
講義ユニット 医療事故と医療安全	29
講義ユニット 高齢者の運動器	30
講義ユニット 高齢者の循環器	32
講義ユニット 放射線医学	33
講義ユニット English Communication Skills	35
講義ユニット 医療と法	37
講義ユニット 今後のキャリアを考える	39
講義ユニット 歯科学	41
講義ユニット 多職種連携	43
講義ユニット 医療情報学	45
講義ユニット 医療倫理学	47
講義ユニット 行動科学・行動経済学	48
医学研究実習配属先決定	49

第1週(2026.4.1-4.3)

(大講義室)

時間	曜日	3月30日(月)	3月31日(火)	4月1日(水)	4月2日(木)	4月3日(金)
8:30 ~ 9:30		/	/	統合臨床医学(学年ガイダンス、医学研究実習配属先決定)	統合臨床医学(今までの学び)	入学式のため休講
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学(介護保険法)					
10:50 ~ 11:50	生体防御と感染(免疫学)			統合臨床医学(歯科学1)		
13:00 ~ 14:00						
14:10 ~ 15:10				生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(免疫学)	
15:20 ~ 16:20						

第2週(2026.4.6-4.10)

時間	曜日	4月6日(月)	4月7日(火)	4月8日(水)	4月9日(木)	4月10日(金)			
8:30 ~ 9:30		病理解論	生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(細菌学)	病理解論	補講(健康診断) 9:00~11:30 女子 13:00~15:30 男子			
9:40 ~ 10:40									
10:50 ~ 11:50									
13:00 ~ 14:00									
14:10 ~ 15:10	薬物による生体調節(薬理学実習)						生体防御と感染(細菌学)	生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(免疫学)
15:20 ~ 16:20									

第3週(2026.4.13-4.17)

時間	曜日	4月13日(月)	4月14日(火)	4月15日(水)	4月16日(木)	4月17日(金)				
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学(外科学)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)	補講	生体防御と感染(ウイルス学)				
9:40 ~ 10:40										
10:50 ~ 11:50										
13:00 ~ 14:00										
14:10 ~ 15:10	薬物による生体調節(薬理学実習)						薬物による生体調節(薬理学実習)	生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)
15:20 ~ 16:20										

第4週(2026.4.20-4.24)

時間	曜日	4月20日(月)	4月21日(火)	4月22日(水)	4月23日(木)	4月24日(金)				
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学(外科学)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)	病理解論	生体防御と感染(ウイルス学)				
9:40 ~ 10:40										
10:50 ~ 11:50										
13:00 ~ 14:00										
14:10 ~ 15:10	薬物による生体調節(薬理学実習)						薬物による生体調節(薬理学実習)	生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)*総論試験
15:20 ~ 16:20										生体防御と感染(細菌学)

第5週(2026.4.27-5.1)

時間	曜日	4月27日(月)	4月28日(火)	4月29日(水)	4月30日(木)	5月1日(金)		
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学(医療面接1)	生体防御と感染(免疫学)	昭和の日	病理解論	生体防御と感染(ウイルス学)		
9:40 ~ 10:40	生体防御と感染(免疫学)							
10:50 ~ 11:50	生体防御と感染(免疫学)							
13:00 ~ 14:00	薬物による生体調節(薬理学実習)		薬物による生体調節(薬理学実習)				生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)
14:10 ~ 15:10								
15:20 ~ 16:20								

第6週(2026.5.4-5.8)

時間	曜日	5月4日(月)	5月5日(火)	5月6日(水)	5月7日(木)	5月8日(金)	
8:30 ~ 9:30		みどりの日	こどもの日	振替休日	病理解論	生体防御と感染(ウイルス学)	
9:40 ~ 10:40							
10:50 ~ 11:50							
13:00 ~ 14:00							
14:10 ~ 15:10	生体防御と感染(免疫学)						統合臨床医学(掃邊追悼式開催日予定日)
15:20 ~ 16:20							

第7週(2026.5.11-5.15)

時間	曜日	5月11日(月)	5月12日(火)	5月13日(水)	5月14日(木)	5月15日(金)			
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学(看護オリエンテーション)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)	病理解論	病理解論			
9:40 ~ 10:40									
10:50 ~ 11:50									
13:00 ~ 14:00	早期地域医療体験実習(EME III)オリエンテーション						生体防御と感染(ウイルス学)	生体防御と感染(免疫学)	生体防御と感染(細菌学)
14:10 ~ 15:10									
15:20 ~ 16:20	統合臨床医学(精神保健福祉法)								

第8週(2026.5.18-5.22)

時間	曜日	5月18日(月)	5月19日(火)	5月20日(水)	5月21日(木)	5月22日(金)				
8:30 ~ 9:30		生体防御と感染(ウイルス学)*試験	統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III				
9:40 ~ 10:40										
10:50 ~ 11:50										
13:00 ~ 14:00										
14:10 ~ 15:10	統合臨床医学(医療面接2)						統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III	統合臨床医学・EME III
15:20 ~ 16:20										

※統合臨床医学は7/15で終了しますが、ほかの科目は7/27まで講義があります。

第9週 (2026.5.25-5.29)

時間	曜日	5月25日(月)	5月26日(火)	5月27日(水)	5月28日(木)	5月29日(金)
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ 振返り
9:40 ~ 10:40						
10:50 ~ 11:50						
13:00 ~ 14:00		統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	統合臨床医学・EMEⅢ	
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第10週 (2026.6.1-6.5)

時間	曜日	6月1日(月)	6月2日(火)	6月3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学 (医療情報学)	統合臨床医学 (薬物治療1)	統合臨床医学 (腹部エコー)	病理総論	統合臨床医学 (医師法)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (医療法)					
10:50 ~ 11:50	統合臨床医学 (歯科学2)					
13:00 ~ 14:00		薬物による生体調節	生体防御と感染 (免疫学実習)	薬物による生体調節	生体防御と感染 (免疫学実習)	
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第11週 (2026.6.8-6.12)

時間	曜日	6月8日(月)	6月9日(火)	6月10日(水)	6月11日(木)	6月12日(金)
8:30 ~ 9:30		生体防御と感染 (免疫学・医動物学) * 試験			病理総論	統合臨床医学 (歯科学3)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (医療安全2)					
10:50 ~ 11:50	統合臨床医学 (ニューロ1)					
13:00 ~ 14:00		統合臨床医学 (医療情報学)		環境医学	生体防御と感染 (細菌学)	生体防御と感染 (細菌学)
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第12週 (2026.6.15-6.19)

時間	曜日	6月15日(月)	6月16日(火)	6月17日(水)	6月18日(木)	6月19日(金)
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学 (医療情報学)	環境医学	環境医学	統合臨床医学 (医学英語)	統合臨床医学 (放射線医学)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (薬物治療2)					
10:50 ~ 11:50						
13:00 ~ 14:00		薬物による生体調節	薬物による生体調節	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第13週 (2026.6.22-6.26)

時間	曜日	6月22日(月)	6月23日(火)	6月24日(水)	6月25日(木)	6月26日(金)
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学 (高齢者の運動器)	環境医学	環境医学	病理総論 * 試験	統合臨床医学 (放射線医学)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (高齢者の循環器)					
10:50 ~ 11:50	統合臨床医学 (キャリア政治家)					
13:00 ~ 14:00		薬物による生体調節	薬物による生体調節	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第14週 (2026.6.29-7.3)

時間	曜日	6月29日(月)	6月30日(火)	7月1日(水)	7月2日(木)	7月3日(金)
8:30 ~ 9:30		薬物による生体調節	環境医学	環境医学		統合臨床医学 (放射線医学)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (歯科学4)					
10:50 ~ 11:50	統合臨床医学 (キャリア:スポーツ医学)				統合臨床医学 (ニューロ2)	
13:00 ~ 14:00		統合臨床医学 (小児科学)	統合臨床医学 (医学英語)	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)	生体防御と感染 (細菌学実習)
14:10 ~ 15:10	統合臨床医学 (多職種連携)					
15:20 ~ 16:20						

第15週 (2026.7.6-7.10)

時間	曜日	7月6日(月)	7月7日(火)	7月8日(水)	7月9日(木)	7月10日(金)
8:30 ~ 9:30		統合臨床医学 (ネフロ)	薬物による生体調節		生体防御と感染 (細菌学) * 試験	統合臨床医学 (医療人類学)
9:40 ~ 10:40	統合臨床医学 (多職種連携)					
10:50 ~ 11:50						
13:00 ~ 14:00		統合臨床医学 (小児科学)	統合臨床医学 (医療倫理学)		統合臨床医学 (医療情報学)	
14:10 ~ 15:10						
15:20 ~ 16:20						

第16週 (2026.7.13-7.17)

時間	曜日	7月13日(月)	7月14日(火)	7月15日(水)	7月16日(木)	7月17日(金)
8:30 ~ 9:30		環境医学	統合臨床医学 (医学英語)	統合臨床医学 (行動科学)		薬物による生体調節 * 試験
9:40 ~ 10:40	環境医学 * 試験					
10:50 ~ 11:50	統合臨床医学 (歯科学5)	統合臨床医学 (キャリア在宅医療)				
13:00 ~ 14:00		統合臨床医学 (注射)	統合臨床医学 (行動経済学)			医学研究実習
14:10 ~ 15:10	統合臨床医学 (薬害被害)					導入講義
15:20 ~ 16:20						

※統合臨床医学は7/15で終了しますが、ほかの科目は7/27まで講義があります。

統合臨床医学コース（臨床医学入門）

大分類	小分類	科目名	ユニット種別	責任担当 教員	講義日
め 研究 医の すす	腎研究	ネフロサイエンス 1	講義ユニット	山本 卓	7/6 1限
		ネフロサイエンス 2	講義ユニット	山本 卓	7/6 2限
	脳研究	ニューロサイエンス 1	講義ユニット	阿部 学	6/12 3限
		ニューロサイエンス 2	講義ユニット	小野寺 理	7/3 3限
臨床 医学 入門	自己主導型 学修	今までの学び、これからの学び	講義ユニット	岡崎 史子	4/2 1限
	看護学	看護実習オリエンテーション	実習ユニット	團原 一恵	5/11 1限～3限
		看護実習/早期地域医療体験実習 (EME3) 訪問看護ステーション実習	実習ユニット	岡崎 史子	5/19～5/22 5/25～5/28
		看護実習・訪問看護実習を振り返る	実習ユニット	岡崎 史子	5/29 1限～3限
	臨床診断学	医療面接 1（接遇・コミュニケーション）	実習ユニット	岡崎 史子	4/27 1限～3限
		医療面接 2（医療面接実習）	実習ユニット	岡崎 史子	5/18 4限～6限
		注射実習	実習ユニット	岡崎 史子	7/13 4限～6限
		腹部エコー実習	実習ユニット	上村 顕也	6/3 1限～3限
	外科学	外科的手技・処置の基礎知識 1	グループ学習	坂田 純	4/13 1限～3限
		外科的手技・処置の基礎知識 2		坂田 純	4/20 1限～3限
	小児科学	小児の特性 1	グループ学習	今村 勝	6/29 4限～6限
		小児の特性 2		今村 勝	7/6 4限～6限
	医療人類学	医療人類学	グループ学習	岡崎 史子	7/10 1限～3限
	病態薬理学	薬害被害の声を聴く	講義ユニット	茂呂 寛	7/14 5限
		薬物治療 1	講義ユニット	外山 聡	6/2 2限
		薬物治療 2	講義ユニット	外山 聡	6/18 3限
	医療安全学	医療安全 1	講義ユニット	鳥谷部 真一	6/2 3限
		医療安全 2	講義ユニット	鳥谷部 真一	6/12 2限
	高齢者医学	高齢者の運動器	講義ユニット	大橋 正幸	6/22 1限
		高齢者の循環器	講義ユニット	猪又 孝元	6/22 2限
	放射線医学	放射線医学 1～3	講義ユニット	堀井 陽祐	6/19 1限～3限
		放射線医学 4～6	講義ユニット		6/26 1限～3限
		放射線医学 7～8	講義ユニット		7/3 1限～2限
	医学英語	医学英語 1～2	講義ユニット	Olga Razvina	6/18 1限～2限
		医学英語 3～4	講義ユニット		6/30 4限～5限
		医学英語 5～6	講義ユニット		7/14 1限～2限
	医療と法	介護保険法	講義ユニット	岡崎 史子	4/2 2限
精神福祉保健法		講義ユニット	福井 直樹	5/12 6限	

大分類	小分類	科目名	ユニット種別	責任担当 教員	講義日
		医師法	講義ユニット	高塚 尚和	6/5 1限
		医療法	講義ユニット	高塚 尚和	6/5 2限
	今後のキャリアを考える	医師免許を政治に生かす	講義ユニット	岡崎 史子	6/22 3限
		なでしこジャパンを支える医師	講義ユニット	岡崎 史子	7/2 3限
		在宅看取りのプロフェッショナル	講義ユニット	岡崎 史子	7/15 3限
	歯科学	歯科学1	講義ユニット	堀 一浩	4/2 3限
		歯科学2	講義ユニット	多部田 康一	6/5 3限
		歯科学3	講義ユニット	野杵 由一郎	6/12 1限
		歯科学4	講義ユニット	富原 圭	7/2 2限
		歯科学5	講義ユニット	井上 誠	7/14 3限
	多職種連携	多職種連携：臨床検査技師	講義ユニット	渡邊 香奈子	6/30 6限
		多職種連携：診療放射線技師	講義ユニット	市川 翔太	7/6 3限
		多職種連携：医用工学	講義ユニット	前田 義信	7/9 3限
	医療情報学	医療情報学1～3	講義・実習ユニット	石澤 正博	6/1 1限～3限
		医療情報学4～6			6/8 4限～6限
		医療情報学7～9			6/15 1限～3限
		医療情報学10～12			7/9 4限～6限
	医療と倫理	医療倫理	実習ユニット	宮坂 道夫	7/7 4限～6限
	行動科学	行動科学	実習ユニット	小澤 竹俊	7/15 1限～2限
		行動経済学	講義ユニット	吉田 暁	7/14 4限
帰還追悼式 ※授業の一部として取り扱います。詳細は、学務情報システムにておしらせします。					
ガイダンス	学年ガイダンス			平島 正則	4/1 1限
	医学研究実習配属先決定			平島 正則	4/1 2限

講義ユニット「ネフロサイエンス (1) (2)」

日程：7月6日(月) 第1時限 8:30～09:30、第2時限 09:40～10:40

責任担当教員：山本 卓 腎研究センター 腎・膠原病内科学分野

科目の概要 (科目のねらい)

慢性腎臓病患者は増加傾向にあり日本では5人に1人発症していると想定されている。また末期腎不全のために透析療法を行っている症例は依然として多く、かつ様々な合併症のため生命予後だけでなく生活の質が損なわれている。それらを克服するため、基礎研究と臨床研究が進められている。

これまでの研究の成果と現在の問題点について学習し、研究の重要性について理解する。

到達目標：

- ・腎疾患の現況、腎疾患の成因、慢性腎臓病対策について理解する。
- ・現在の臨床に対する課題に取り組む基礎研究と臨床研究の一旦を理解する。

アウトカム：

- ・慢性腎臓病対策の現況について説明できる。
- ・腎疾患と他臓器疾患との関連について説明できる。
- ・基礎研究と臨床研究の意義を腎臓病の視点から説明できる。

学習方法：

- ・講義 対面授業 (大講義室)

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

キーワード CKD、慢性腎臓病、血液透析

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

2200に事前に連絡する

教員の連絡先：

山本 卓 (2200、yamamots@med.niigata-u.ac.jp)

講義ユニット「ニューロサイエンス（1）」

担当教員：阿部 学（脳研究所 モデル動物開発分野）

日 程：6月12日（金）第3時限 10:50～11:50

到達目標：

本講義の目的は、脳高次機能を担う分子機構や神経・精神疾患の遺伝的要因と、それらを解明する手法について理解することである。基礎医学研究における動物実験やヒト疾患モデル動物の重要性を踏まえつつ、記憶・学習の基礎過程であるシナプス伝達の可塑性の分子機序が遺伝子改変マウスを用いて証明されてきた経緯や、脳科学研究における最新の成果を例として、分子と生体をつなぐ研究材料となる遺伝子改変動物の作製及び解析技術の発展について紹介する。

アウトカム：

1. シナプス伝達と可塑性の分子機序を理解できる。
2. 脳機能の分子レベルでの解析の意味を理解できる。
3. 遺伝子改変動物作製方法の原理を理解できる。

学習方法：

- 1) 1コマを60分として1コマで構成されている。
- 2) スライドによる講義を聴講する。
- 3) 講義の後にレポート形式の課題を課す。

授業実施形態：対面授業（大講義室）

担当教員（内線、メールアドレス）：

脳研究所 阿部 学（0621、manabu@bri.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「ニューロサイエンス（2）」

担当教員：小野寺 理（脳研究所 脳神経内科学分野）

日程：7月3日（金）第3時限 10:50～11:50

到達目標：

本講義の目的は、新潟大学脳研究所の最新研究成果を中心に、脳高次機能を担う分子機構や神経・精神疾患の遺伝的要因とその解明手法について理解することである。とりわけ、脳研究所で進められている神経変性疾患の分子病態解明研究に焦点を当てる。新潟大学脳研究所独自の成果としてトランスレーショナルリサーチについても紹介する。

アウトカム：

1. 新潟大学脳研究所で解明された神経変性疾患（CARASIL、遺伝性脊髄小脳変性症、ALSなど）の分子病態について説明できる
2. 脳研究所が確立した神経疾患の新規バイオマーカーとその臨床応用について説明できる
3. 脳研究所で進められている脳神経回路の機能的・構造的解析技術とその成果について理解する
4. 脳研究所の国際共同研究ネットワークを通じた最新の神経科学研究成果について説明できる
5. 基礎研究から臨床応用への橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）における脳研究所の取り組みを理解する

学習方法：

講義：分子神経科学の基礎知識と新潟大学脳研究所の最新の研究成果について解説

スライド資料：主要な実験結果や分子モデルの視覚的理解を促進

ディスカッション：臨床的課題と基礎研究の統合についての議論

脳研究所HPを参照下さい

授業実施形態：対面授業（大講義室）

担当教員（内線、メールアドレス）：

脳研究所 小野寺 理（0663、onodera@bri.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「今までの学び、これからの学び」

担当教員：岡崎 史子（医学教育学分野）

日 程：4月2日（木）第1時限8:30～9:30

到達目標：

2年生の時の自分の学びについて省察し、本学のアウトカムに対してどの程度の到達度が認識する。

アウトカム：

1. 2年生までの自分の学びについて省察できる。
2. 本学のアウトカムを再度認識し、自分の到達度を検討できる。
3. 医学教育モデルコアカリキュラムについて理解する。

学習方法：

アウトカムに対しての自分の学びの程度を記載する
医学教育モデルコアカリキュラムについて学ぶ

授業実施形態：対面授業（大講義室）

準備学習・授業時間外の学修：

本学のアウトカムはシラバスに掲載されているので見直しておくこと。

欠席時の連絡先と予定している対応：

担当教員に事前に連絡する。

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

実習ユニット「看護実習オリエンテーション・看護実習」

責任担当教員：團原一恵（看護部長）

担当教員：若狭恵美（副看護部長/教育担当）、岡崎史子（医学教育学）

科目の概要：

将来職場となる病院において、チーム医療を展開するうえで要となる看護師の業務を理解し、連携に必要なコミュニケーションを習得するために、実際の臨床現場で看護業務に参加し、事後に省察する。また患者の療養に必要なものは何なのかについて考察する。

科目のねらい：

全人的医療の実践を目標とした臨床実習を円滑に行うために、看護実習を通し、チーム医療における看護の機能や連携・協働・補完のあり方を理解するとともに、医療人としての基本的な態度を習得する。

学修の到達目標：

1. チーム医療における看護の機能や連携・協働・補完の重要性について説明できる。
2. 看護師とともに、基本的看護技術の一部を実施できる。
3. 看護師と共に、ケアリングの一部を実施できる。
4. 患者や医療チームメンバーとの基本的なコミュニケーションができる。
5. 患者の抱える不安や苦痛について理解することができる。
6. 身だしなみ、挨拶、言葉使い等、医療人として信頼される身なりや行動ができる。

学習方法：

対面 オンライン 講義 グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

以下をすべて満たした場合に単位を認定する。

1. 医学生としての実習への参加状況及び態度

【参加状況】

- ・事前のオリエンテーションに出席する
- ・実習に無断で遅刻、無断欠席をしない

【参加態度】

- ・指導者の指導に従っていたか
- ・不適切な態度（居眠り、私語、無断の離席）はなかったか
- ・積極的に参加できたか
- ・科目責任者からのフィードバックに応答する

2. 記録物の提出状況

- ・日々の記録を記載し、5月26日に大学に提出する
- ・事後の振り返り（5月26日）に出席する
- ・指定されたレポートを提出する

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

キーワード：看護職、チーム医療

関連リンク：厚生労働省看護関連政策

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000079675.html>

一コマの授業時間：60分（オリエンテーション、振り返り）、実習は除く

準備学習・授業時間外の学修：

特になし

欠席時の連絡先と予定している対応：

実習先の病棟の連絡先に電話すること（※連絡先はオリエンテーションの際に配布）

教員の連絡先：

團原 一恵 (hitoedan.fn9@nuh.niigata-u.ac.jp)

岡崎 史子 (fokazaki@med.nigata-u.ac.jp)

医学部医学科アウトカムとの関連：Ⅱ医学の専門的な知識、Ⅴ保険・医療・福祉への貢献

医学教育モデル・コア・カリキュラムとの関連：PR-01, PR-02, GE-01, IP-01, IP-02, CM-01

その他の注意事項：

○実習時の服装、持参するもの

名札、しわのない清潔な白衣、実習ノート

○みだしなみ

■ユニフォームに乱れはない（シワ・汚れがない、ボタンはとまっているなど）

■医療現場で活動する上で適切な衣類を着用している

■名札を適切な位置につけている

■足全体を覆うタイプの靴（クロックス等サンダルは禁止）

■アクセサリは華美ではない

■タバコ臭がない

■香水、整髪剤、柔軟剤等の香りは周りに迷惑がない程度

■自然で健康的なメイク

■髭は剃ってある、または適切に整えている

- 髪は整えている 長い場合は束ねている
- 髪色は他者から見て不快に感じさせない色である
- 爪は適切に揃えてある。

○レポートについて

- ・テーマ：「看護実習を通して学んだこと」
- ・様式：A4版レポート用紙、横書き800字程度
- ・提出先：学務情報システムから通知
- ・期限：6月5日（金）17時

○実習期間中の連絡先

実習を欠席する場合は事前に学務係及び病院に連絡する

【学務】025-227-2016、medgakum@med.niigata-u.ac.jp

【病院】17:00～8:30 025-227-2479（時間外・夜間窓口）、上記時間以外 025-223-6161（代表）

授業計画表

1. 実習ガイダンス

日付	時間	内容	備考
5/11(月)	1限 08:30～09:30	ガイダンス	大講義室
	2限 09:40～10:40	PPE、手指消毒の実習	
	3限 10:50～11:50		

2. 病院看護実習：A班 5/19（火）～5/22（金）・B班 5/25（月）～5/28（木）

(1) 日勤のみの場合

	1日目		2日目		3日目		4日目	
A班	5/19（火）		5/20（水）		5/21（木）		5/22（金）	
B班	5/25（月）		5/26（火）		5/27（水）		5/28（木）	
時間	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20
内容	看護実習		看護実習		看護実習		看護実習	
備考	各病棟		各病棟		各病棟		各病棟	

(2) 夜勤ありの場合

	1日目		2日目(夜勤)		3日目		4日目	
A班	5/19 (火)		5/20 (水)		5/21 (木)		5/22 (金)	
B班	5/25 (月)		5/26 (火)		5/27 (水)		5/28 (木)	
時間	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20	夜勤開始ま で休み	PM-AM 20:30~09:30 または 20:00~09:00	夜勤明け以 降休み	AM 8:30- 11:50	PM 13:00- 16:20	
内容	看護実習		看護実習		看護実習		看護実習	
備考	各病棟		各病棟		各病棟		各病棟	

※夜勤実習は、20時30分～9時30分または20時～9時。配属先によって時間が異なる。

3. 振り返りの会

日付	時間	内容	備考
5/29(金)	1限 08:30~09:30	看護実習・早期地域医療体験実習 (EMEⅢ) (訪問看護実習) 振返	大講義室
	2限 09:40~10:40		
	3限 10:50~11:50		

※早期地域医療体験実習 (EMEⅢ) については、別のシラバスに記載。

実習ユニット「シミュレーション実習（医療面接1、2）」

責任担当教員：岡崎 史子

担当教員：岡崎 史子、青木 亜美（医学教育センター）、忒田 亮平（腎・膠原病内科学分野）、池上 龍太郎（循環器内科）、今西 明、荒 隆紀（地域医療分野）、佐藤 隆明（血液・内分泌・代謝内科）、庄司 圭介（小児科）、恩田 啓伍（精神科）、田中 純太（新潟県立病院）福井 直樹（松浜病院）、吉田 暁（新潟市民病院）、田村 幸代（株式会社インプレシオン）

科目の概要：

医師としてのコミュニケーション能力の醸成のため、1回目はコミュニケーションの基本について学び、2回目は模擬患者さんと医療面接を実施する。

科目のねらい：

患者医師関係を構築するのにコミュニケーションスキルは欠かせない。視線、あいづちなど基本的な非言語的コミュニケーションについて学び、共感的な態度を示しながら基本的な医療面接を実践する。

到達目標：

- 1 視線、あいづちなど基本的な非言語的コミュニケーションについて配慮できる。
- 2 基本的な医療面接が実施できる。
- 3 誠実で丁寧な態度で接し、患者さんとの信頼関係を構築できる。

学習方法：

基本的なコミュニケーションについて、講義を聞く

視線、あいづち、目線の高さなどと印象についての実習を行う。

同級生とロールプレイを実施する

模擬患者さんに対して医療面接を行い、自己省察、他者からのフィードバックを受ける

同級生の医療面接を見て、コミュニケーションについてさらに学ぶ。

授業形態・日時：

- ・医療面接1 4月27日（月）第1～3時限 8:30～11:50 （大講義室）
- ・医療面接2 5月18日（月）第4～6時限 13:00～16:20 （総合研究棟3階、4階）

授業時間外学修

講義内容をよく復習して、5月18日に臨む

欠席時の対応：欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

医学教育センター 岡崎 史子 (0425 fokazaki@med.niigata-u.ac.jp)

医学教育センター 青木 亜美 (0425 aoki-a@med.niigata-u.ac.jp)

実習ユニット「シミュレーション実習（注射）」

責任担当教員：岡崎 史子

担当教員：岡崎 史子、Razvina Olga、青木 亜美（医学教育センター）、
小林 暁子（産科婦人科）

日 程：7月13日（月）第4時限～第6時限 13:00～16:20

到達目標：

医師のスキルとして重要な皮下注射、筋肉注射についての手技を学び、シミュレータに対して実施する。

アウトカム：

注射の基本的スキルを実践できる

被検者に対して配慮できる

学習方法：

注射の仕方についての知識を修得する

被検者に配慮しつつ、注射を実施する

授業実施形態

対面授業（総合研修棟4階）

授業時間外学修・使用テキスト

皮下注射 <https://www.youtube.com/watch?v=7Bu1Qn3LE5w>



筋肉注射 <https://www.youtube.com/watch?v=tA96CA6fJv8>



講義に参加して学んだ内容を重視し、指定教科書は特に設けない。

欠席時の対応：欠席時には fokazaki@med.niigata-u.ac.jp に事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

医学教育センター 岡崎 史子 (0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp)

実習ユニット「シミュレーション実習（腹部エコー）」

担当教員：上村 颯也（総合診療学）

日 程：6月3日（水）第1時限 8:30～09:30 第2時限 09:40～10:40 第3時限 10:50～11:50

到達目標：

臨床現場で頻繁に活用するエコー検査を経験し、

- 解剖学や生理学など基礎医学の重要性を再認識する
- 臨床医学の検査を実施し、その意義を学ぶ。

アウトカム：

1. エコー検査の基本を説明できる。
2. 腹部エコー検査を実施し、基礎医学の知識の重要性を認識する。
3. 臨床現場でエコー検査がどのような場面で活用されているか、理解する。

学習方法：

超音波検査の基本を講義、シミュレータを用いた腹部領域のエコー検査を実体験する。

授業実施形態

対面授業（大講義室）

授業時間外学修・使用テキスト

講義に参加して学んだ内容を重視し、指定教科書は特に設けない。

担当教員（内線、メールアドレス）：

総合診療学 上村 颯也（2173 kenya-k@med.niigata-u.ac.jp）

グループ学習ユニットA「外科的手技・処置の基礎知識」

責任担当教員：坂田 純（消化器・一般外科）

担当教員：第一外科学教室、第二外科学教室、小児外科学教室、麻酔科学教室、
輸血・再生・細胞治療センター

科目の概要：

臨床医学の学習に必要な、「創傷治癒とその管理/出血の対処」、「麻酔と周術期管理」、「輸液・栄養療法」、および「輸血と移植」の基本的知識を修得する。

科目のねらい：

臨床実習前に外科学的手技・処置の概要を理解し、次年度以降の臨床実習に円滑に臨めるようにすることを目的とする。

学修の到達目標：

「創傷治癒とその管理/出血の対処」

- ・創傷治癒を説明できる。
- ・創傷処置（止血法を含む）を説明できる。

「麻酔と周術期管理」

- ・バイタルサインを説明できる。
- ・麻酔の種類および合併症を説明できる。

「輸液・栄養療法」

- ・輸液（点滴）・経静脈栄養を説明できる。
- ・栄養療法としての中心静脈栄養と経腸栄養を説明できる。
- ・高齢者医療におけるサルコペニア・フレイルの重要性を説明できる。

「輸血と移植」

- ・輸血の種類とその適応を説明できる。
- ・成分輸血を説明できる。
- ・臓器移植について説明できる。

学習方法：

対面 オンライン 講義 グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テスト及び個人レポート、グループレポートの提出状況と発表を総合して評価する。

授業計画：

*4月13日(月)(08:30~11:50)：グループ学習の説明・テーマの割り当てと個人レポートの作成
総合研究棟3階小グループ学習室Bに集合

1. 「創傷治癒とその管理/出血の対処」「麻酔と周術期管理」「輸液・栄養療法」「輸血と移植」の4つのテーマのうちチューターにより割り当てられた1つのテーマにつき、グループ(全12グループ)でリーダー、記録者、プレゼンター、発表会の司会者を決めて討議し、そのテーマについて「学習すべき事項」を抽出する。
2. 「学習すべき事項」につき、各自が基礎医学の復習と検索とにより自習する。
3. 各自が学習した内容について所定の用紙で「個人レポート」を作成し、チューターに提出する(1日目の11:50までに提出すること)。
4. そのテーマに関してチューターが提示する「まとめるべき事項」についてグループ学習を行い、所定の用紙を用いて「グループレポート」を作成し、チューターに提出する(2日目の9:30までに提出すること)。
5. そのテーマについてグループで討議し、協力して発表形式にまとめる(パワーポイント)(発表は2日目の8:30~9:30)。2日目のプレゼン当日は、コンピューター準備のため、USBに入れたパワーポイントデータを8:25までに担当チューターに提出すること。

*4月20日(月)(08:30~11:50):4グループずつ3会場に分かれて集合

- 1) 第1班~第4班:大講義室に集合
- 2) 第5班~第8班:第4講義室に集合
- 3) 第9班~第12班:医療人育成センター4階ホールに集合

6. 3会場それぞれ4グループが4つのテーマについて発表会を行う。他グループからの質問を受け、討議する。司会は司会者が行う。担当教員からも適宜コメントをもらう(8:30~9:30:発表時間10分、質疑応答5分)。グループレポートを9:30までにチューターに提出する。

7. 全員が大講義室に集合して、各テーマについて6人の教員から講義を聴講する。質疑応答も行う。講義の担当は、「創傷治癒と管理/出血の対処」:呼吸循環外科学教室、消化器・一般外科学教室、「麻酔と周術期管理」:麻酔学教室、「輸液・栄養療法」:消化器・一般外科学教室、「輸血と移植」:輸血・再生・細胞治療センターおよび小児外科学教室である。(9:40~11:35)

8. グループ学習ユニットAの小テストを行う。(11:35~11:50)

担当教員(内線、メールアドレス):

*グループ学習ユニット全般に関する質問:

第一外科 坂田 純 (2228、jsakata2@med.niigata-u.ac.jp) まで

*各テーマに関する個別の質問:下記担当教員まで

「創傷治癒とその管理/出血の対処」

呼吸循環外科(創傷治癒とその管理) 後藤 達哉 (2243、tgoto@med.niigata-u.ac.jp)

消化器・一般外科(出血の対処) 坂田 純 (2228、jsakata2@med.niigata-u.ac.jp)

「麻酔と周術期管理」

麻酔科 山本 知裕 (2328、yamamoto270@hotmail.com)

「輸液・栄養療法」

消化器・一般外科(成人/栄養/輸液) 島田 能史 (2228、shimaday@med.niigata-u.ac.jp)

「輸血と移植」

輸血・再生・細胞治療センター(輸血) 布施 香子 (2735、kyo-fuse@med.niigata-u.ac.jp)

上村 正己 (2735、kamimura2-nii@umin.ac.jp)

小児外科(移植) 小林 隆 (2228、kobataka@med.niigata-u.ac.jp)

グループ学習ユニット「小児の特性」

責任担当教員：今村 勝

日時：6月29日（月）4限～6限 13:00-16:20 大講義室、小グループ学習室B（総合研究棟3階）

7月6日（月）4限～6限 13:00-16:20 第4講義室、第5講義室、大講義室

到達目標：

臨床医学の学習に必要な、胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての成長と発達の生理と病態の基本的知識を修得する。

アウトカム：

1. 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。
2. 新生児の生理的特徴を説明できる。
3. 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。
4. 小児の精神運動発達を説明できる。
5. 思春期発現の機序と性徴を説明できる。

学習方法：対面授業

次ページ以降に模式図を示す。

- 1) 「小児医学の基本」について講義（大講義室）を聴講する。
- 2) 小グループ学習室B（総合研究棟3階）に移動し、1班約8名の15グループで、グループごとにリーダー1名、記録者2名、プレゼンター2名、発表会の司会者1名および質問者を決める。
- 3) 「胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化」「新生児の生理的特徴」「乳幼児の生理機能の発達」「小児の精神運動発達」「思春期発現の機序と性徴」の各テーマについて、グループ学習を行う。5つのテーマの学習すべき事項を抽出し、所定の用紙でグループとしてのレポートを作成し1日目のグループ学習後にチューターに提出する（グループレポート1）。
- 4) 各班に割り振られた1テーマおよび各自が分担した問題点について、抽出した学習すべき事項を中心にして、各自が基礎医学の復習と検索により自習する。
- 5) 各自が分担した問題点については、学習した内容について所定の用紙で個人レポートを作成し、2日目23:59までに学務情報システムより提出する（個人レポート）。
- 6) 各班に割り振られたテーマについては、各自が学習した内容を基にグループ学習を行い、発表形式にまとめる（パワーポイント使用）。
- 7) 各班10分の発表会（第4講義室、第5講義室、大講義室）を行い、他グループからの質問を受け、討議する。発表データはUSB又はPCで持参する。発表会后、2日目23:59までにパワーポイント資料（1ページ6枚の配布資料の形で）をグループごとに学務情報システムより提出する。（グループレポート2）
- 8) 「小児の発達」について全員で講義を聴講する。

学習方法

1. 5テーマの問題点の抽出 ⇒ グループレポート 1

- 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化
- 新生児の生理的特徴
- 乳幼児の生理的特機能の発達
- 小児の精神運動発達
- 思春期発現の機序と性徴

2. グループテーマ(1日目に公表)の検討・学習

3. グループテーマについての発表

4. グループテーマに関する

個人レポートとグループレポート 2 の提出

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時には今村までメールにて事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

全般担当

今村 勝 (2222/2217、mimamura@med.niigata-u.ac.jp)

講義担当

齋藤 昭彦 (2215、asaitoh@med.niigata-u.ac.jp)

大野 武 (2222、takeono@med.niigata-u.ac.jp)

タイムスケジュール 1日目

イントロダクション(大講義室)

担当:齋藤 昭彦

13:00~13:15

グループワーク(各グループ教室)

13:15~14:30

⇒役割分担表提出

5 テーマ全ての問題点をあげる

グループレポート1 提出

グループテーマの発表、準備
各問題点の分担(個人レポート準備)

14:50~16:20

1日目終了

タイムスケジュール 2日目

第4、5講義室、大講義室に分かれて発表 担当:各チューター

グループテーマに関する発表:(発表7分、質問3分、計10分)

1. 胎児の循環・呼吸の生理的特長と出生時の変化
2. 新生児の生理的特徴
3. 乳幼児の生理機能の発達
4. 小児の精神運動発達
5. 思春期発現の機序と性徴

13:00~14:30

大講義室に集合

小児の特性(成長)と発達 担当:大野 武

14:50~15:50

2日目終了

1. グループレポート1（グループで1編提出）

できるだけ多くの問題を多面的に挙げる

Key wordがあります：それを挙げていけば加点！

例）老人医療なら・・・生活習慣病、癌、血管障害など

Key wordは発表後にお伝えします。

2. 個人レポート（各個人で1編提出）

3. グループ発表（グループレポート2）

内容はもちろん、アピール度も評価します。

時間管理も重視します（発表7分、質問3分、計10分で）。

（レポートの締め切り）

1. グループレポート1（グループで1編提出）

できるだけ多くの問題点を挙げてください。

- ・胎児の循環、呼吸の生理的特徴と出生時の変化
- ・新生児の生理的特徴
- ・乳幼児の生理的機能の発達
- ・小児の精神運動発達
- ・思春期発現の機序と性徴

締め切り 1日目 14:30
⇒各チューターへ

2. 個人レポート（各個人で1編提出）

グループテーマに関する問題点を各自分担して
個人レポートとしても良いし、
グループテーマ以外の内容でも良い。

締め切り 2日目 23:59
⇒学務情報システムへ

3. グループレポート2（グループで1編提出）

パワーポイント資料（6スライド/枚）

締め切り 2日目 23:59
⇒学務情報システムへ

役割分担表

グループ学習ユニットB 小児の特性（成長と発達）

グループ 第_____班

*在籍番号と氏名を記入すること。
全員がいずれかの役割を担当する。

リーダー： _____

パワーポイント作成係：

発表係： _____

質問係： _____

司会者： _____

グループ学習ユニットB 小児の特性 (成長と発達)

グループ番号 _____ 班

以下の各テーマの学習すべき事項・問題点を挙げてください

1) 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化

2) 新生児の生理的特徴

3) 乳幼児の生理機能の発達

4) 小児の精神発達・運動発達

5) 思春期発現の機序と性徴

グループ学習ユニットB 小児の特性（成長と発達）

グループ _____ 学籍番号 _____ 氏名 _____

グループのテーマ： _____

個人テーマ： _____

内容：

「医療人類学」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

医師は医学に基づいて医療を実施するが、患者さんにとって、病気になることは人生の出来事のひとつである。患者さんからみる医療の景色について考える。

科目のねらい：

医療人類学という学問の視座にたつて、医療について考える。

学修の到達目標：

患者さんの視座について検討することができる。
病いについて、人生の視点から考えることができる

学習方法：

対面 オンライン 講義（大講義室） グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

講義に参加した上で、講義で気づいたこと、学んだことを事後に提出する

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画：

7月10日（金）1限～3限 08:30-11:50 飯田淳子（神奈川大学 医療人類学者）

講義ユニット「薬害被害者の声を聞く」

担当教員：茂呂 寛（感染管理部）

日 程：7月14日（火）第5時限 14:10～15:10

到達目標：

薬物治療には副作用という負の側面が存在し、過去にも薬害という形でたびたび問題となっている。

実際に薬害の被害に会った患者を外部講師として招き、直接の声を聞くことにより、なぜこのような事態が起きたのか、再発をどうすれば防げるのか、自身の医学への取り組みを見つめ直す機会とする。

「医学の専門的な知識」「保健・医療・福祉への貢献」「倫理性と人間性」に関して知識、態度、スキルを示すことを目標とする（基盤レベル）。

アウトカム：

1. 過去にどのような薬害が生じていたのか説明できる。
2. HIV感染症など薬害被害の病態を説明できる。
3. 薬害患者に対する救済措置について具体的に説明できる。

学習方法：

- 1) 1コマを60分で構成されている。
- 2) 薬害被害者ご自身の講演を聞き、補足として、薬害被害の概要、HIV感染症の基本的事項、今後の課題に関する講義を聴講する。

授業実施形態

対面授業（大講義室）

授業時間外学修・使用テキスト

講義に参加して学んだ内容を重視し、指定教科書は特に設けない。

授業時間外の学習：授業を復習し、レポートを提出する。

担当教員（内線、メールアドレス）：

感染管理部 茂呂 寛（0884、hmoro@med.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「薬物治療の基礎知識」

担当教員：外山 聡（薬剤部）、金光 祥臣（薬剤部）

日 程：6月2日（火）第2時限 09:40～10:40 第3講義室

6月18日（木）第3時限 10:50～11:50 大講義室

到達目標：

疾患治療に必要な医薬品の薬（剤）学の基本的知識を修得する。

アウトカム：

1. 薬効と医薬品の剤形との基本的知識を説明できる。
2. 薬物送達機構（ドラッグ・デリバリー・システム）(DDS) の基本的知識を説明できる。
3. 薬物と薬物および薬物と飲食物等との相互作用についての基本的知識を説明できる。
4. 副作用の概念とその回避方法についての基本的知識を説明できる。
5. 科学的根拠に基づく薬効評価とレギュラトリーサイエンスの基本的知識を説明できる。

学習方法：

講義 対面授業（場所：6月2日 第3講義室、6月18日 大講義室）

講義の後に小テストを実施する。

担当教員（内線、メールアドレス）：

外山 聡（薬剤部 2782、toyama@med.niigata-u.ac.jp）

金光 祥臣（薬剤部 2248、ykanemitsu@med.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「医療事故と医療安全」(科目英文名 Patient Safety)

責任担当教員：鳥谷部 真一

科目の概要：

医療行為は、人間（患者）という不確実な存在を相手にして、不完全な人間（医療者）が行うものである。本来医療行為は患者の疾病や障害などを改善しようという意図で行うものだが、その意図に反して患者の障害につながってしまうことがある。その結果、不幸にして患者との信頼関係が崩れたり、医事紛争につながることもある。こうした医療行為による障害の実態や原因を学ぶとともに、医療行為による障害（医療事故）を少しでも減らすためにはどのようなことを心がけるべきかを学ぶ。

科目のねらい：

患者を診療する上で、医療事故や医療安全管理に関する知識は必要不可欠である。医学生は臨床実習などで患者の診療を経験し、卒後臨床研修を経て、将来は臨床医を志す者も多い。そのため、医療事故と医療安全管理に関して、基本的な事項を理解することを本科目のねらいとする。

学修の到達目標：

医療事故に関わる用語を明確に理解し、医療事故やインシデントの疫学、発生原因、再発防止策、報告制度について概略を理解する。

学習方法：

対面授業（6月2日（火）第3講義室・6月12日（金）大講義室）

評価方法と基準：

出席状況と課題レポートの内容で総合的に評価する。

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

欠席時の連絡先：

欠席時には下記担当教員メールアドレスに事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

医療安全管理部 鳥谷部 真一（0375、toyabe@med.niigata-u.ac.jp）

医療安全管理部 大嶋 康義（0874、ohshima@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

6月2日（火）第3時限 10:50～11:50 医療事故および医療安全管理

6月12日（金）第2時限 09:40～10:40 ヒューマンファクターとヒューマンエラー

講義ユニット「高齢者の運動器」

担当教員：大橋 正幸（医学部：整形外科、医歯学総合病院：総合リハビリテーションセンター）

日 程：6月22日（月）第1時限 8:30～ 9:30

科目の概要：

日本では短期間で高齢化が急速に進み、さらに今後高齢者人口は一層の増加が予想されている。このような状況の中、寝たきりでなく、自立した生活である「健康寿命の延伸」が社会においても家庭においても望まれている。

高齢者の疾患・病態の特徴は、内臓器障害（機能低下）があることはもちろんであるが、多くの高齢者では認知機能障害、運動器能障害、感覚器（視力、聴力）障害、摂食・嚥下、栄養面での障害、心理面での障害があることであり、包括的に総合的に評価することが重要である。その中でも運動器の障害（ロコモティブシンドローム）は移動能力の低下をきたし、要支援・要介護となる原因の25%を占めており、その対策が急務である。

さらに生活環境（家庭、施設など）を考慮したゴールを設定し、リハビリテーション（運動療法）と生活支援を多職種連携で進め、患者さん自身が能動的に自立して身体活動を維持・改善できるような医療が求められている。

科目のねらい：

高齢者社会の現状と医療に何が求められているかを学ぶ。

アウトカム：

1. 高齢化率、前期高齢者および後期高齢者について説明できる。
2. 日本における高齢者人口の推移を説明できる。
3. 健康寿命について説明できる。
4. 加齢による心身機能の変化を説明できる。
5. 高齢者に対する包括的医療について説明できる。

学習方法：

- 1) 1コマを60分として1コマで構成されている。
- 2) 講義 対面授業（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

講義に参加

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

担当教員（内線、メールアドレス）：

整形外科学 大橋 正幸（2272、masayuki-ohashi@med.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「高齢者の循環器」

責任担当教員：猪又 孝元 循環器内科

日 程：6月22日（月）第2時限 9:40～10:40

科目の概要：

臨床医学の学習に必要な、加齢・老化に伴う生理的变化と高齢者の特異性を、循環器系臓器を介して理解する。

アウトカム：

1. 加齢に伴う循環器系臓器の構造と機能の変化を説明できる。
2. 高齢者における疾患の特異性を説明できる。
3. 超高齢化社会に伴い急増する心不全の病態と治療の概略が理解できる。

学習方法：講義 対面授業（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テスト

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

特になし

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時には川崎教授秘書に事前に連絡する miyazawa@med.niigata-u.ac.jp

教員の連絡先（内線、メールアドレス）：

循環器内科 猪又孝元（2182、inotaka@med.niigata-u.ac.jp）

講義ユニット「放射線医学」

責任担当教員：堀井 陽祐

到達目標：

臨床医学の学習に必要な放射線医学の基本的知識を修得する。

アウトカム：

- ・画像診断（X線を用いた検査、超音波検査、MRI検査）の原理を説明できる。
- ・各領域（頭部・胸部・腹部・骨盤部）の正常画像解剖を説明できる。
- ・放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。
- ・放射線障害と防護を説明できる。
- ・核医学検査の読影の原理を説明できる。

学習方法：

- 対面 オンライン
講義（大講義室） グループワーク 実習 その他

1. 講義

- ・「放射線医学総論・放射線治療学総論（生物学・腫瘍学）」、「放射線物理学」、「放射線診断学総論」、「画像解剖」について、講義を聴講する。対面授業（大講義室）

2. 筆記試験

- ・最後の講義の時間内に、放射線治療学総論（生物学・腫瘍学）・放射線物理学・放射線診断学総論・画像解剖の講義内容から筆記試験を行う。

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

筆記試験

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時には堀井までメールにて事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

- ・放射線診断学総論、画像診断
石川 浩志（2315、iskw@med.niigata-u.ac.jp）
堀井 陽祐（2315、y-horii@med.niigata-u.ac.jp）
山崎 元彦（2315、myamazak@med.niigata-u.ac.jp）
- ・放射線治療学総論、放射線物理学
海津 元樹（2315、kaidu@med.niigata-u.ac.jp）
太田 篤（2315、aohta@med.niigata-u.ac.jp）
中野 智成（2315、t-nakano@med.niigata-u.ac.jp）
棚邊 哲史（2315、s-tanabe@med.niigata-u.ac.jp）

タイムスケジュール

期日	時間	授業内容
6/19（金）	8:30 ～ 9:30	放射線医学総論・放射線治療学総論（生物学）
	9:40 ～ 10:40	放射線診断学総論
	10:50 ～ 11:50	放射線治療学総論（生物学）
6/26（金）	8:30 ～ 9:30	放射線物理学
	9:40 ～ 10:40	放射線治療学総論（生物学）
	10:50 ～ 11:50	放射線診断学総論
7/ 3（金）	8:30 ～ 9:30	画像解剖
	9:40 ～ 10:40	筆記試験

*授業内容に関する詳細は後日連絡します。

講義ユニット「English Communication Skills」

責任担当教員：Olga Razvina（医学教育センター）

科目の概要：

医療現場で重要となるコミュニケーションスキルの修得に重点を置く。将来、必要な業務を英語で遂行し、医師と患者の関係を確立し、それを維持するために必要となる語学力と対人スキルを向上させる。医師と患者間の生産的な相互コミュニケーションにおいて、その重要性を示す。症状の聞き取りから身体診察まで、英語で、状況に応じて細やかに対処する術を学ぶ。

科目のねらい：

世界中でグローバル化が進む中、英語しか話せない患者に医師が対応する必要性はますます高まっている。使える英語のフレーズを知ることは、問診時の医師と患者のストレスを軽減させるだけでなく、患者との信頼関係を築くためにも、また、診察時に医師が主訴を把握し、検査指示を出す際にも大変重要となる。

到達目標：

1. 患者への挨拶、自己紹介、治療過程での自身の役割を説明し、開放型の質問から対話を開始し、検査の方向性を設定することができる。
2. 正確な既往歴と症状を収集し、復唱や確認等の手法を用いて会話を円滑に進めることができる。
3. 検査手順を患者に説明し、患者が理解できるよう効果的な指示を与えることができる。

授業実施形態：

対面授業、講義（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テスト

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

医学英語・指定教科書は特に設けない。

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時には担当教員までメールにて事前に連絡する

担当教員（内線、メールアドレス）：

医学教育センター Olga Razvina (2063、razvinao@med.niigata-u.ac.jp)

授業計画

日付・時限・教室	内容
6月18日（木） 1限 8:30～10:00 2限 10:20～11:50 大講義室	外国人患者への対応に必要な知識とコミュニケーション能力を身につけます。授業では、会話・非言語・アクティブリスニング・声の使い方・文化的認識という5つの主要スキルを中心に、医療場面での効果的なコミュニケーション方法を学びます。また、患者の文化的背景が医師 - 患者関係に与える影響を理解し、多様な文化に配慮した対応力を養います。
6月30日（火） 4限 13:00～14:00 5限 14:10～15:10 大講義室	
7月14日（火） 1限 8:30～10:00 2限 10:20～11:50 大講義室	この授業では、英語での効果的なプレゼンテーションに必要な基本的スキルを学びます。話す速度や発音、アイコンタクト、視覚資料の使い方などのデリバリースキルに加え、直接的で簡潔な説明といった英語圏のプレゼン文化も扱います。発表後の質疑応答に対応するための実践的なコツも身につけます。

講義ユニット：「医療と法」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

医師が知っておくべき医療関連の法律について学ぶ

科目のねらい：

医療に関する法律の概要を理解して訪問看護ステーション実習や今後の臨床実習、臨床研修に生かす。

学修の到達目標：

医師法の概要について説明できる

医療法の概要について説明できる

介護保険法の概要について説明できる

精神福祉保健法の概要について説明できる

学習方法：

対面 オンライン 講義（大講義室） グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テストを実施する

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

一コマの授業時間：

60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

- 4月2日(木) 2限 09:40~10:40 岡崎史子(介護保険法)
5月12日(火) 6限 15:20~16:20 福井直樹(精神福祉保健法)
6月5日(金) 1限 08:30~09:30 高塚尚和(医師法)
6月5日(金) 2限 09:40~10:40 高塚尚和(医療法)

担当教員：高塚 尚和、福井 直樹

講義ユニット「今後のキャリアを考える」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

これからの医師には単に基礎医学、臨床医学、社会医学という枠を超えた、あらたな切り口でのキャリア形成が必要となってくる。その選択に備えて、様々なロールモデルのあり方を学ぶ。

科目のねらい：

枠にはまらないキャリアをもつ医師の話聞いて、自身のこれからについて考える礎とする。

学修の到達目標：

医師のキャリアについて、講演から学ぶ
自身のキャリアについて想像する
自身の興味の方向について探索することができる

学習方法：

対面講義（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

講義に参加した上で、講義で気づいたこと、学んだことを事後に学務情報を提出する。
提出先については別途通知する。

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

キャリア形成

一コマの授業時間：

60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時には、fokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画：

- 6月22日（月） 3限 10:50～11:50 国光あやの（医師＋政治家）
7月2日（木） 3限 10:50～11:50 鈴木朱美（医師：スポーツドクター）
7月15日（水） 3限 10:50～11:50 小澤竹俊（医師：在宅看取りのプロフェッショナル）

統合臨床医学「歯科学」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

医師が知っておくべき歯科学について学ぶ

科目のねらい：

臨床実習前に歯科学の概要を理解して次年度以降の臨床実習に生かす。

学修の到達目標：

1. 歯の疾患

う蝕、歯髄疾患および根尖性歯周疾患の病因、病態、予防法と処置法を説明できる。

う蝕およびその継発疾患と全身の疾患との関連が説明できる。

2. 歯周疾患

歯周疾患の病因、病態および処置法を説明できる。

歯周疾患と全身との関連性が説明できる。

3. 加齢歯科学

加齢に伴う顎口腔顔面機能の変化を説明できる。

摂食嚥下障害と口腔機能の関連を説明できる。

4. 歯科補綴学

歯の欠損、咬合支持の喪失に伴う病態を説明できる。

歯科補綴治療の意義について説明できる。

5. 口腔外科学ー口腔機能再建における外科的アプローチ

口腔の主な機能を列挙できる。

咬合再建の意義を述べることができる。

学習方法：

対面 オンライン

講義（大講義室） グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テスト（講義ごと）

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

多職種連携

田上順次他監修：

第六版 保存修復学2 1（永末書店、2022）

興地隆史他編集：

第6版 エンドドンティクス（永末書店、2022）臨床歯周病学（医歯薬出版、第3版、2020）

高戸 毅監修：

医師・歯科医師のための口腔診療必携（金原出版、2010）

後藤滋巳他編著：

歯科矯正学 第5版（医歯薬出版、第7刷、2013） Quintessence Publishing: A Textbook of occlusion

高橋庄二郎他編集：標準口腔外科学（医学書院）

宮崎 正編集：口腔外科学（医歯薬出版）

才藤栄一他監修：摂食照下リハビリテーション第3版（医歯薬出版）

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

4月2日（木）3限 10：50-11：50 堀 一浩（医歯学総合研究科（歯））

6月5日（金）3限 10：50-11：50 多部田 康一（〃）

6月12日（金）1限 08：30-09：30 野杵 由一郎（〃）

7月2日（木）2限 09：40-10：40 富原 圭（〃）

7月14日（火）3限 10：50-11：50 井上 誠（〃）

「多職種連携」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

医師が行う医療の周りには様々な職種があり、有機的に連携しながら医療が成り立っている。多職種について理解を深める。

科目のねらい：

新潟大学で教育されている医療系の分野について、理解して次年度以降の臨床実習に生かす。

学修の到達目標：

- ・臨床検査技師および診療放射線技師の専門領域を理解し、これらの職種との連携の重要性を修得する。
- ・医学と工学の連携である生体医工学（福祉工学を含む）という学問が現状でどのように進められているかを理解し、未来の新たな連携を模索する力を身に付ける。

学習方法：

対面講義（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

小テスト、レポート

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

多職種連携

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う。

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する。

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

- 6月30日（火） 6限 15：20～16：20 渡邊香奈子（保健学科 検査技術科学専攻）
7月6日（月） 3限 10：50～11：50 市川翔太（保健学科 放射線技術科学専攻）
7月9日（木） 3限 10：50～11：50 前田義信（工学部 工学科 医用工学）

実習ユニット「医療情報学」

責任担当教員：石澤 正博（医療情報部）

担当教員：石澤 正博

科目の概要：

社会医学Ⅰ（医学情報学（基礎））で獲得した統計学・情報処理技術の素養を元に、医学・医療領域で統計学および情報技術を積極的に用いるための知識及び手法を習得する。

科目のねらい：

社会医学Ⅰの補完としてノンパラメトリックな統計手法を学び、より多くの医学論文を読み解く、さらには自ら統計解析を実践する基礎力を養う。また、人工知能（Artificial Intelligence; AI）の原理を学び、医学科の学修および将来の活動の中で活用する。

学修の到達目標：

（統計学分野）

1. データの種類と解析の目的に合わせた統計手法を説明できる。
2. ツールを用いて統計解析を実施できる。

（情報学分野）

3. AIの原理を概説できる。
4. 自らの学修に生成AIを効果的に採り入れることができる。

学習方法：

対面 オンライン 講義 グループワーク 実習 その他

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

1・3日目の講義の課題（各20点）および2・4日目の実習の成果物（各30点）により評価する。合計60点/100点以上で合格とする。

- 講義・実習中の態度、対面やメール等での質問やコメントの質を、課題の評価に加味する場合がある（減点もありうる）。
- 合計60点未満の場合、1回に限り指定した課題の修正・再提出を許可する。再提出後の合計が65点を超える場合、65点に修正する。
- 合計4時間超の無断欠席がある場合、課題4回分を評価しない。
- 課題提出までの過程に問題がある場合は、その回の課題を評価しない（具体的には講義内で伝える）。

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

医学統計、医学研究、人工知能、生成AI

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

社会医学Ⅰの内容を復習する。1日（3時間）を1コマとし、各コマについて3時間以上の自己学習を要する想定である。

欠席時の連絡先と予定している対応：

社会医学Ⅰ（医学情報学（基礎））と同様である。すなわち、欠席等を「余儀なくされる」場合には下記へメール連絡し、その指示に応えることで不利無く1回の出席に替える。それ以外の欠席の場合も必ず連絡すること。

教員の連絡先：

石澤 正博（2472、ishizawam@med.niigata-u.ac.jp）

医学部医学科アウトカムとの関連：Ⅱ医学の専門的な知識、Ⅴ保険・医療・福祉への貢献

医学教育モデル・コア・カリキュラムとの関連：IT-01, IT-02, IT-03

その他の注意事項：

シラバス策定時点で、PC（Personal Computer；パソコン）による実習の場所・方法は調整中で、場合によっては医歯学図書館を利用する可能性もある。突然に時間・金銭の負担が生じないように配慮しながら、事前に別途案内する。

授業計画表：

日付	時間	内容	備考
6月1日（月）	1限 08:30～09:30	医学情報学（基礎）の復習	講義
	2限 09:40～10:40	AIの基礎、医療への応用	
	3限 10:50～11:50	生成AIの効果的な活用法	
6月8日（月）	4限 13:00～14:00	情報実習：	PC実習
	5限 14:10～15:10	Google Colab（予定）を用いた	
	6限 15:20～16:20	AIワークショップ	
6月15日（月）	1限 08:30～09:30	ノンパラメトリックな統計手法	講義
	2限 09:40～10:40	医学研究における統計解析	
	3限 10:50～11:50	実習のための説明	
7月9日（木）	4限 13:00～14:00	統計実習：	PC実習
	5限 14:10～15:10	MATLAB（予定）を用いた	
	6限 15:20～16:20	解析と結果の解釈	

「医療倫理学」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

皆さんはこれから医学をさらに学びます。しかしそれを実際に現場で医療として実施するときには、医学的な正しさだけでなく、患者さんの思い、ご家族の思い、周囲の状況など様々なことを考慮して進めなければなりません。医療倫理という切り口で、医療現場を捉え直します。

科目のねらい：

医学入門、倫理観と人間性で学んだ医療倫理について、さらに理解を深める。

学修の到達目標：

事例についての背景を考える

倫理的な葛藤場面で、グループで考え、妥当な結論を出すことができる

学習方法：

対面講義 グループワーク

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

講義に参加した上で、講義で気づいたこと、学んだことを事後に提出する

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

7月7日（火）4限～6限 13:00～14:20 宮坂道夫 岡崎史子

「行動科学・行動経済学」

責任担当教員：岡崎 史子

科目の概要：

人はどのような時にどのような行動をするのか。それを科学的に考える学問を行動科学といいます。医学入門でも、倫理学と人間性でも扱ってきました。3年生ではレジリエンスに焦点を当てます。

科目のねらい：

行動科学という視点で様々な事象を捉え直す

学修の到達目標：

レジリエンスについて理解する
自身の人生にどう生かせるかを考える

学習方法：

対面講義（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

講義に参加した上で、講義で気づいたこと、学んだことを事後に提出する

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

一コマの授業時間：60分

準備学習・授業時間外の学修：

講義中の指示に従い十分な事後の学習を行う

欠席時の連絡先と予定している対応：

欠席時にはfokazaki@med.niigata-u.ac.jpに事前に連絡する

教員の連絡先：

岡崎 史子（0425、fokazaki@med.niigata-u.ac.jp）

授業計画

7月14日（火）4限 13：00-14：00 吉田 暁（新潟市民病院）

7月15日（水）1、2限 08：30-10：40 小澤 竹俊（在宅訪問医師）

「医学研究実習配属先決定」

責任担当教員：平島 正則（薬理学）

担当教員：岡崎 史子（医学教育センター）

科目の概要：

9月から実施される医学研究実習の配属先の最終決定を行う

科目のねらい：

本学の卒業時アウトカム「Ⅶリサーチマインド」の醸成

学習方法：

対面講義（大講義室）

評価方法と基準（フィードバックの方法を含む）：

1. 講義に出席する
2. 遅刻、無断欠席をしない。

以上をすべて満たした場合に単位を認定する。実習中に不適切な態度（居眠り、私語、無断の離席）があった場合には単位を認定しない。

参考文献・関連リンク・キーワードなど：

リサーチマインド

一コマの授業時間：60分（オリエンテーション、振り返り）、実習は除く

欠席時の連絡先と予定している対応：

責任担当教員と学務係（2016、medgakum@med.niigata-u.ac.jp）へ事前に連絡する。

教員の連絡先：

平島 正則（masanori@med.niigata-u.ac.jp）

その他の注意事項：

なし

授業計画表：

4月1日（水）第2時限 9:40～10:40 （大講義室）

配属決定プロセス・フローチャート： あなたの行き先が決まるまで



【ステップ1】第1希望の判定（4月1日）

受入数に対して第1希望者数が同数以下、または教員が希望理由に基づき選出した場合に配属が確定します。



【ステップ2】 選外者のジャンケン対決

教員選出が行われず定員を超過している場合、ジャンケンで決定します。



【ステップ3】 第2希望への入札

未決定者は第2希望の教室をホワイトボードに記入し、再度定員と照らし合わせます。定員内であれば確定です。



【ステップ4】 「2.5希望」による調整

第2希望で定員超過した場合、まず「空き枠への移動(2.5希望)」を募ります。名乗り出た学生はじゃんけんを回避して配属先の決定ができます。



【ステップ5】 第3希望の繰り返しと 最終決定

第2希望で決まらなかった場合は第3希望でも同様の手順を繰り返します。最後まで残った枠に順次割り当てられます。



【例外】 当日欠席者の扱い

当日欠席した学生については、本人の意思確認を行わず、事務で機械的に配属先を割り当てます。



解散可能（配属先決定）

すべての学生が配属先を決定し、プロセスが終了します。